

史跡探訪感想文

市内史跡探訪

「鉄輪湯けむり散歩」

島 節 子

雨上がりの朝、私にとっては二回目の湯けむり散歩に出かけた。大谷公園には西本願寺第二十二世門主大谷光瑞鏡如上人を記念して設けられたという光瑞上人の業績を讃えたシルクロード探検隊の記念碑もある。

公園は今年四月にリニューアルされ「足岩盤浴」の施設も出来ている。ガイドの甲斐氏の説明で早速、公園横の瑞光寺に案内された。光瑞上人の遺品や写真が展示されている。

ガイドさんの面白い話しを耳にしなが、生きた証しということを考えさせられた。その時代のハイカラさん達の写真は、そんな昔のことではない祖父たちの時代に生きた光瑞上人を身近に感じさせる。

鬼山ホテルのロビーには東郷青児画伯の描いた別府の風景

画が、白と淡青な色で壁いっぱい描かれていて、静かな色合いに癒される。

鬼山地獄、山地獄などの地獄地帯を通り過ぎ、一万四千坪の神和苑の庭の素晴らしさは目をみはる。丹精に手入れされた庭園は、昭和初期の華やかかなりし時代を伺わせてくれる。これこそが本物の旅館だという風格さえ感じた。不思議なブルーの色をたたえる「青の湯」の露天風呂はここでしか堪能できない。

湯けむり散歩の心づくしの冷たい飲み物で熱い体を冷やし、参加者との対話が弾む。

「いでゆ坂」と呼ばれる通りには一遍上人を記念して造られた「上人湯」の建物がホープ賞を受賞していた。

道路から少し入った空間は広々としていて、鉄輪は狭く苦しいとのイメージを持っていた思いが払拭された。

新しい姿の鉄輪発見に快い疲れと満足感が残る散策であった。

その後に頂戴した写真には、全員の中が写されたかのような美しく楽しそうな笑顔が写っていた。